

(3) 第3回検証会議資料

資料番号①

資料番号①は、第2回検証会議のみに使用したものでありここには添付しない。

舞鶴市の公共工事実施体制

1. 設計時

＜事業起案決裁（変更時も同様）＞

担当課 → 所管部 → 財務部 → 副市長（事務系） → 市長
 ↳ 予定価格 500 万円以上 ↳ 予定価格 1,000 万円以上

＜コンサルタント対応＞

担当課（主：担当職員，係長） → 課長

<成果品検査>

部内の担当課以外の管理職

2. 工事施工時

＜事業起案決裁（変更時も同様）＞

担当課 → 所管部 → 財務部 → 副市長（事務系） → 市長
 ▶ 予定価格 1,000 万円以上 ▶ 予定価格 3,000 万円以上

<工事監督>

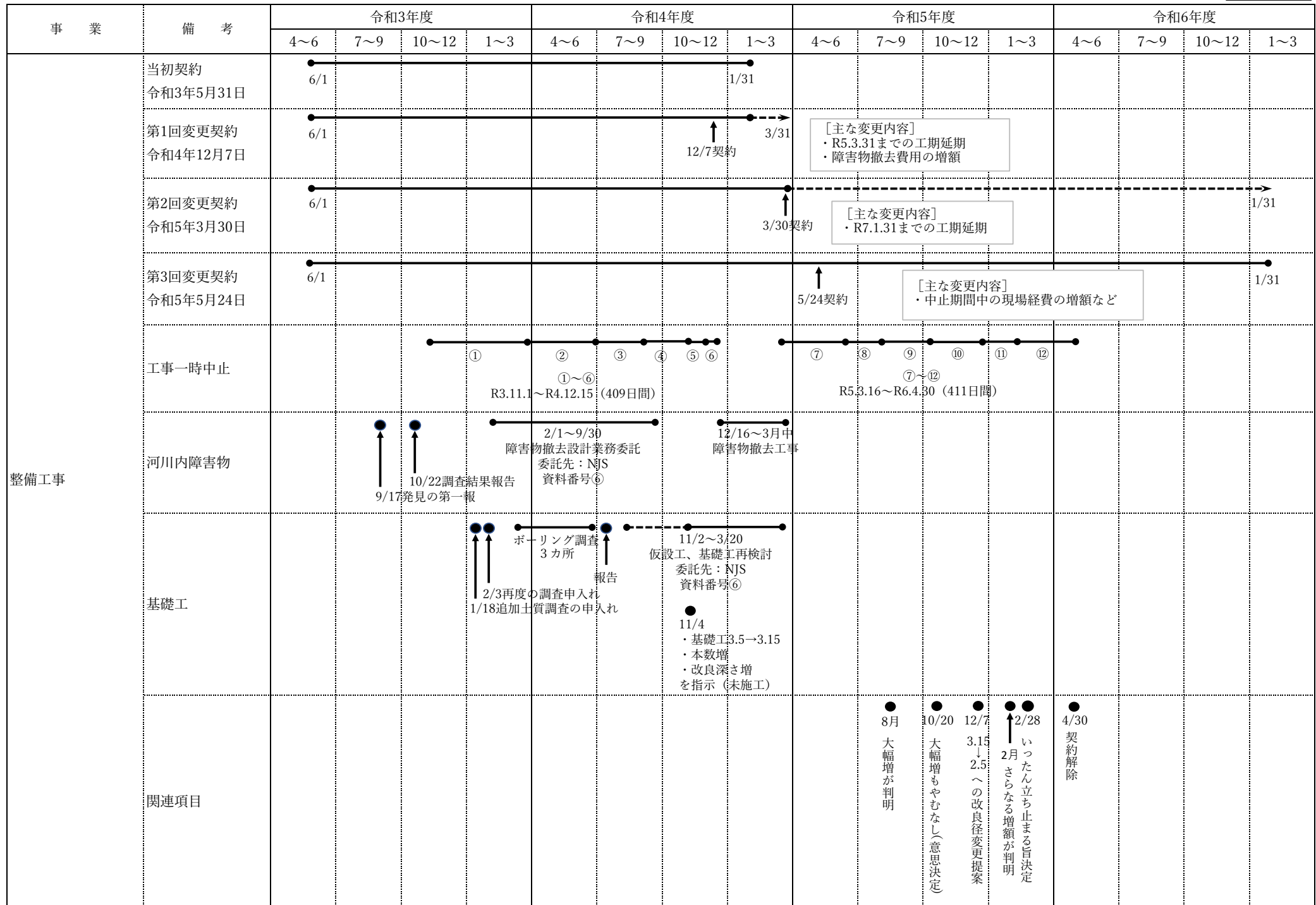
担当課（監督員：担当職員，主任監督員：係長，総括監督員：課長）

<竣工検査>

総務部指導検査課の検査職員
 ➡入札に付した 250 万円以上の工事

静溪ポンプ場 工事实施年表 〔年度区切り〕

資料③



資料番号④

資料番号④は、第 1 回検証会議添付資料⑩と同じ。

変更契約の経過

(資料③工事実施年表も併せて参照)

資料⑤

契約	契約日	契約金額(円)	増額(円)		割合(%)		変更内容
			前回比	当初比	前回比	当初比	
当 初	R3.5.31	596,200,000	—	—	—		
第 1 回	R4.12.7	831,891,500	235,691,500	235,691,500	39.5	39.5	・ 工期延期(2 ヲ月間) ・ 障害物撤去、土質調査、掘削土改良運搬処分費、汚濁防止膜・水替費、借地整備・改良、試掘、給排水管布設、インフレスライド
第 2 回	R5.3.30	変更なし	—	—	—		・ 工期延期(22 ヲ月間)
第 3 回	R5.5.24	875,508,700	43,617,200	279,308,700	5.2	46.8	・ 中止期間中費用、仮設構台支持杭存置(買取)費用、仮設排水ポンプ
第 4 回(予定)	—	約 1,500,000,000	約 624,500,000	約 903,800,000	約 170	約 250	・ 資料⑥参照

資料⑤

大幅増額に関する判断について

1. 当初契約 5 億 9,620 万円から約 15 億円（2.5 倍）への増額を是とした理由

<増額の内容>

（金額の大きい順）

- ・地盤改良の改良長、改良面積の変更
- ・障害物撤去
- ・作業ステージの変更
- ・矢板打ち込み延長の変更
- ・インフレスライド
- ・工事中止期間中の経費

<是とした理由>

作業工程上、施工途中で切り離すことが困難であったため。

2. 一方で、15 億円からの更なる増額を是としなかった理由

<増額の内容>

- ・地盤改良の径・本数の変更

径 3,150 mm 94 本 → 径 2,500 mm 153 本

<是としなかった理由>

契約解除せず、このまま追加変更を繰り返しながら進めた場合、事業費の更なる増大が見込まれ、不適切との判断に至った。

設計が現場と合っていないと判断し契約解除に至った。

参考①

参考①は、第1回検証会議資料⑱と同じ